

平成29年度中間期 東邦銀行の現況



福島県の新イメージポスター（出所：福島県）



すべてを地域のために
東邦銀行

I. 福島県の現状～復興から成長へ～

- 1. 福島県の現状 ……………2
- 2. 震災からの復興状況 ……………3
- 3-1. 成長に向けた歩み【観光業等】 ……………4
- 3-2・3. 成長に向けた歩み【産業振興】 ……5～6
- 3-4. 成長に向けた歩み【産業の集積状況】 ……7

II. 平成29年度中間決算の概要

- 1. 平成29年度中間決算の概要……………9
- 2. 業容関連
 - (1) 預かり資産の状況 ……………10
 - (2) 貸出金の状況 ……………11
- 3. 収益関連
 - (1) 資金利益の状況 ……………12
 - (2) 役務取引等収益(手数料収入)の状況 ……13
- 4. 経費……………14
- 5. 経営体質
 - (1) 貸出資産の質 ……………15
 - (2) 経営の健全性 ……………16
- 6. 配当金・株主さまご優待制度 ……………17

III. 東邦銀行の取組み

- 1. ふくしまの“復興から成長”への貢献
 - 中期経営計画進捗状況 ……………19
 - (1) 地域の創生・発展への積極的な参画 ……………20
 - (2) お取引先の販路拡大支援 ……………21
 - (3) 多様な資金ニーズへの対応と
海外マーケットへの進出支援 ……………22
 - (4) 経営課題提案型営業・事業再生支援等の取組み…23
- 2. お客さまから選ばれる銀行づくり
 - (1) 個人のお客さまサポートのための取組み ……24
 - (2) 資産運用のお手伝い ……………25
 - (3) 個人のお客さま向けローンの取組み ……………26
 - (4) 店舗・チャネル戦略 ……………27
- 3. 持続可能な企業体質の確立
 - (1) 地方銀行連携・フィンテック分野への取組み ……28
 - (2) 多様な働き方の推進と働き方大改革……………29
 - (3) 人材育成への取組み ……………30
 - (4) 活発なクラブ活動 ……………31
 - (5) CSR(地域貢献・社会貢献活動)の取組み
……………32～33

I. 福島県の現状 ～復興から成長へ～

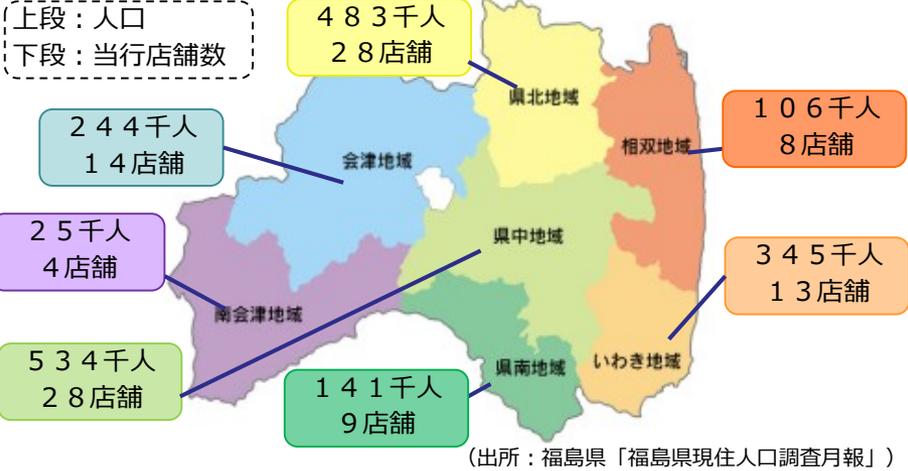
1. 福島県の現状

福島県の概況

◆人口188万人<H29.10.1現在> (ピーク時213万人：H10/1)

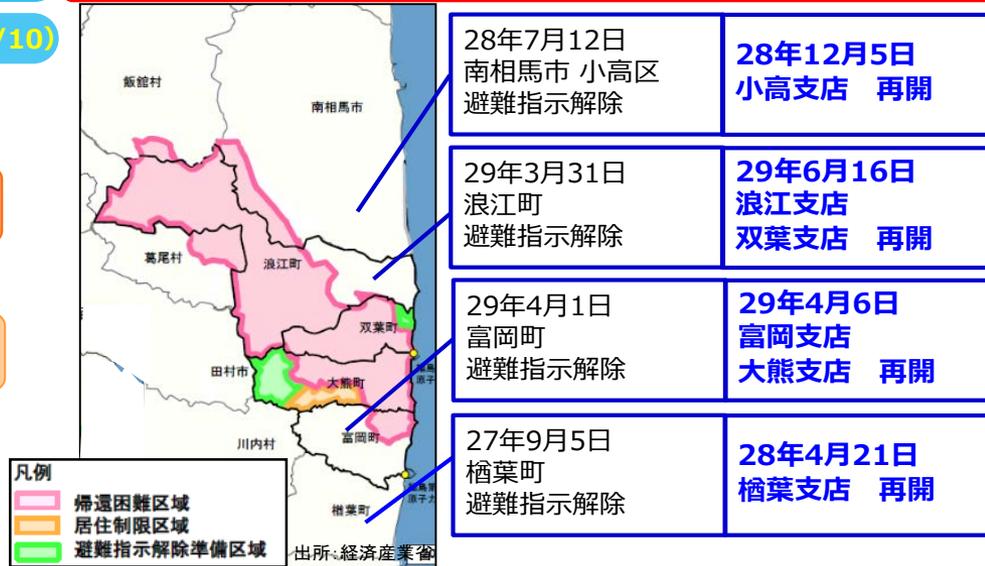
◆県内59市町村 (13市、31町、15村) (ピーク時90市町村：H16/10)

上段：人口
下段：当行店舗数



当行の被災地域店舗の現状

◆震災後6年～臨時休業店舗6カ店全てが再開



交通インフラの復旧・整備状況

○東北中央自動車道

(相馬市～山形県～秋田県横手市、延長約268kmの高規格幹線道路)



(出所：国土交通省福島河川国道事務所)



2. 震災からの復興状況

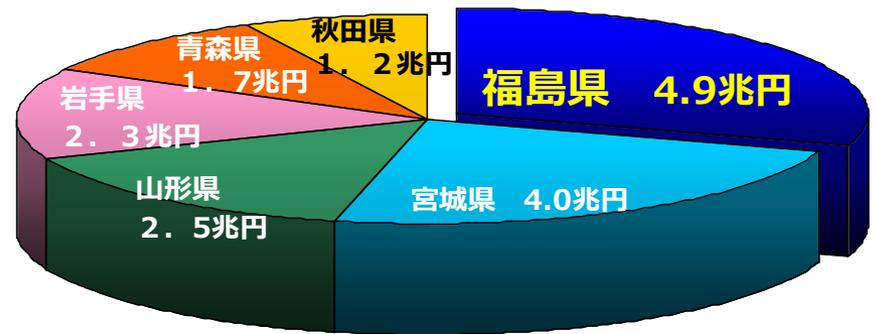
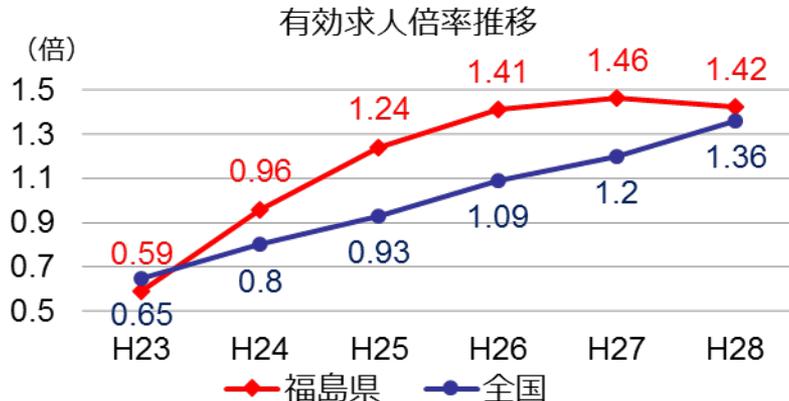
	震災前（平成22年度）	震災直後（平成23年度）	足元の状況
人口	○人口 202万人 （平成23年3月1日） ○合計特殊出生率 1.52	○人口 197万人 （平成24年3月1日） ○合計特殊出生率 1.48	○人口 188万人 （平成29年10月1日） ○合計特殊出生率 1.58 （平成27年）
経済	○県内総生産(名目) 6兆9,368億円 ○有効求人倍率 0.42倍 （全国平均 0.52倍）	○県内総生産(名目) 6兆2,467億円 ○有効求人倍率 0.59倍 （全国平均 0.65倍）	○県内総生産(名目) 7兆2,786億円 （平成27年度） ○有効求人倍率 1.42倍 （平成28年） （全国平均 1.36倍）
産業	○建設業 公共工事請負金額 1,847億円 新設住宅着工戸数 9,342戸 ○製造業 製造品出荷額等 5兆900億円 （東北1位） ○農業 農業産出額 2,330億円 農畜産物輸出货量 151トン	○建設業 公共工事請負金額 2,491億円 新設住宅着工戸数 7,826戸 ○製造業 製造品出荷額等 4兆3,200億円 （東北1位） ○農業 農業産出額 1,851億円 農畜産物輸出货量 17トン	○建設業 公共工事請負金額 8,455億円 （平成28年度） 新設住宅着工戸数 18,422戸 （平成28年） ○製造業 製造品出荷額等 4兆9,150億円 （平成27年） （東北1位） ○農業 農業産出額 1,973億円 （平成27年） 農畜産物輸出货量 61トン （平成28年度）

有効求人倍率

震災以降（H24年～）全国平均を上回る水準で推移

製造品出荷額等

ほぼ震災前の水準まで回復 東北1位の出荷額



3-1. 成長に向けた歩み【観光業等】

「酒どころ 福島」

全国新酒鑑評会 5年連続日本一！

金賞受賞数

平成24酒造年度 26銘柄
 平成25酒造年度 17銘柄
 平成26酒造年度 24銘柄
 平成27酒造年度 18銘柄
 平成28酒造年度 22銘柄



(出所：福島県)

【清酒製造企業数 全国4位】

清酒製造企業数		
順位	都道府県名	企業数
1	新潟	88
2	長野	76
3	兵庫	71
4	福島	64
5	福岡	57

(出所：国税庁「清酒製造業の概況」
(平成27年度調査分))

豊富な観光資源

「楽天トラベル」の「2017紅葉旅行が人気のエリアランキング」
磐梯高原・裏磐梯が2年連続で全国1位！

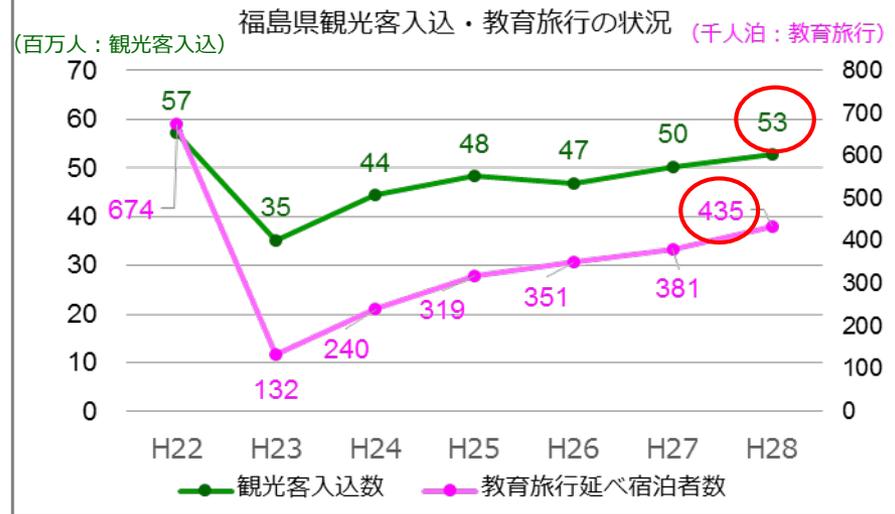
	観光エリア
1位	磐梯高原・裏磐梯 (福島県)
2位	白馬・八方尾根・柵池高原・小谷 (長野県)
3位	上高地・乗鞍・白骨 (長野県)
4位	定山溪 (北海道)
5位	旭川・層雲峡・旭岳 (北海道)



磐梯吾妻レークラインの紅葉

観光の再生

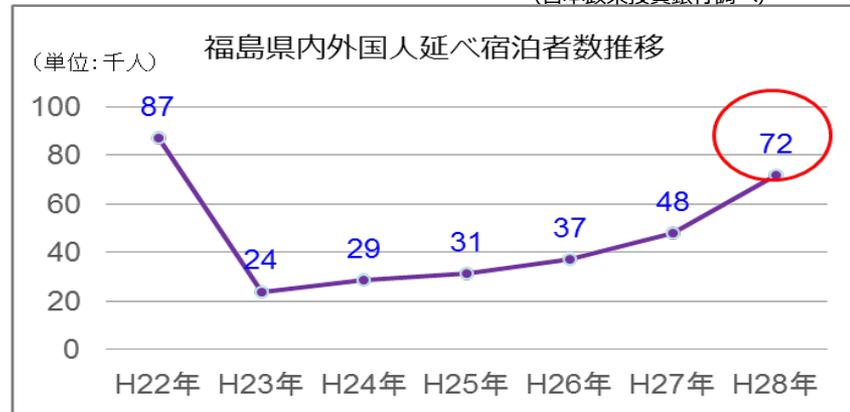
- 観光客の入込状況は震災前年の**9割強まで回復！**
- 教育旅行については震災前年の**6割強の回復**にとどまる



(出所：福島県観光客入込状況調査・福島県教育旅行入込調査報告書)

- 外国人観光客の宿泊者数は震災前年の**8割強まで回復！**
- ◆「訪日外国人観光客が訪れたい県」福島県が**東北6県トップ！**

(日本政策投資銀行調べ)



(出所：観光庁宿泊旅行統計調査)

3-2. 成長に向けた歩み【産業振興①】

企業立地

○ふくしま産業復興企業立地補助金

【平成28年9月現在】

指定企業数 471社 採択金額 約1,989億円

➡ **5,923人の雇用創出見込み**

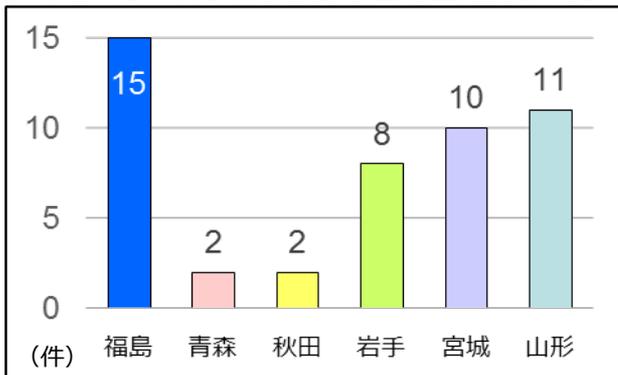
○津波・原子力災害被災地域雇用創出企業立地補助金

【平成28年9月現在】

指定企業数 164社 採択金額 約811億円

➡ **2,134人の雇用創出見込み**

○29年1月～6月の東北各県工場立地件数（敷地面積1,000㎡以上）



(出所：東北経済産業局)



(出所：福島県)

医療産業

《全国屈指》の医療機器関連生産額

◆医療機器生産額 全国第3位 (H26年)

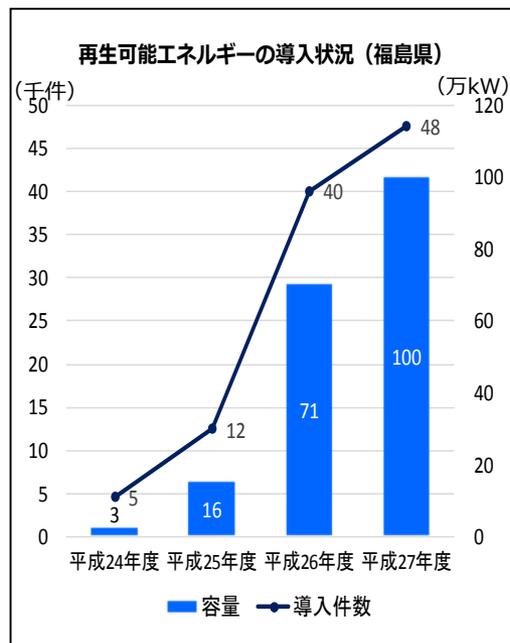
平成22年：911億円 ⇒ 平成26年：1,303億円 (+392億円)

医療機器受託生産額 全国第1位 (H26年)

医療機器部品生産額 全国第1位 (H26年)

再生可能エネルギー

《東北1位》の導入容量実績



(出所：資源エネルギー庁「固定買取制度 情報公開用ウェブサイト」)

東北各県の再生可能エネルギー導入状況 (H27年度)

県名	再エネ導入件数 (件)	再エネ導入容量 (kW)
福島	47,593	1,002,719
青森	10,611	718,724
秋田	6,453	412,523
岩手	24,622	427,059
宮城	48,937	597,375
山形	12,316	252,383



○メガソーラー発電所



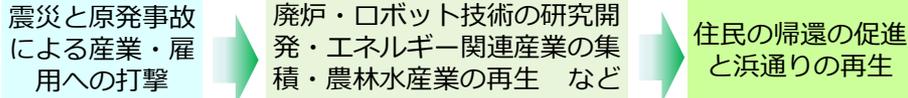
○浮体式洋上風力発電設備「ふくしま未来」



○木質バイオマス発電所

3-3. 成長に向けた歩み【産業振興②】

イノベーションコースト構想



国際産学連携拠点

- ◆ 「大熊分析・研究センター」 (H30年3月運用開始予定)
 - ・放射性廃棄物の性状分析・評価、保管中の安全性評価等に関する技術開発 【大熊町】
- ◆ 「廃炉国際共同研究センター国際共同研究棟」 (H29年4月運用開始)
 - ・国内外の大学、研究機関、企業等による廃炉研究と人材育成 【富岡町】
- ◆ 「楢葉遠隔技術開発センター (モックアップセンター)」 (H28年4月本格運用開始)
 - ・原子炉格納容器の調査・補修用ロボット等の開発や実験等 【楢葉町】

ロボット開発
・実証拠点

- ◆ 「ロボットテストフィールド」 (H30年度順次開所予定)
 - ・災害対応ロボット等の実証試験等 【南相馬市・浪江町】
- ◆ 「国際産学官共同利用施設 (ロボット)」 (H28年～設計等開始)
 - ・ロボットの基礎的・基盤的研究等 【南相馬市】

新たな産業集積

- ◆ 「石炭ガス化複合発電 (IGCC) 事業」 (H29年春～工事着手)
 - ・世界最新鋭のIGCC設備を2基新設し、石炭利用技術の一大拠点化 【広野町・いわき市勿来】
- ◆ 「福島新エネ社会構想」
- ◆ 「農林水産業プロジェクト」
 - ・農業用ロボットの開発・実証、CLTの推進、水産研究拠点など

福島新エネ社会構想

○イノベーションコースト構想の新エネルギー分野を加速化し、福島県を未来の新エネルギー社会先取りモデル創出拠点とする



ロボットテストフィールド完成予想図 (出所：福島県)

**世界最大級の
水素工場を
浪江町に建設**

※2020年東京オリンピックまでの稼働を目指す

**水素エネルギーの
一大生産地化**

福島県内のドローン関連事業実績

- ドローン関連開発支援実績 **11件** (26～28年度)
- ドローン導入支援実績 **10件** (28年度)
- ドローン実証試験支援実績 **23件** (27年度～)

最先端事業と県内事業者のマッチングを促進



3-4. 成長に向けた歩み【産業の集積状況】

エネルギー関連・I(C)T・医療産業・アグリビジネス・ロボット開発等、研究開発・産業創出拠点の整備が進む

【会津地域】

- 会津大学 先端ICTラボ (リクティア)
- 会津若松スマートシティ
- 会津電力
- Oメディカルシステムズ社
- 会津若松ウインドファーム
- 木質バイオマス発電所



【県北地域】

- 医療-産業トランスレーショナルリサーチセンター
(ふくしま国際医療科学センター)

イノベーション・コースト構想

- 国際産学連携拠点
- ロボット開発・実証拠点
- 新たな産業集積

医療-産業トランスレーショナルリサーチセンター



国際廃炉研究開発拠点



【県中地域】

- 産業技術総合研究所
福島再生可能エネルギー研究所
- ふくしま医療機器開発支援センター
- 三春町環境創造センター
- 郡山市布引高原風力発電所
- 福島空港メガソーラー
- 風の谷Ten-ei天栄風力発電所
- S社介護ロボット郡山工場
- Jメディカルカンパニー社

ふくしま医療機器開発支援センター



【県南地域】

- Oメディカルシステムズ社
- Mガス化学社
- S半導体社
- 西郷村太陽光発電事業
- ユーラス矢吹中島ソーラーパーク
- 白河ウッドパワー

【相双地域】

- 相馬港LNG基地等整備
- 富岡復興メガソーラー・SAKURA
- 波倉メガソーラー発電所
- 南相馬ソーラーアグリパーク
- 大熊町ふるさと再興メガソーラー
- いたてまでいな太陽光発電事業
- 懸の森太陽光発電所

【いわき地域】

- 石炭ガス化複合発電 (IGCC)
(広野町・いわき市勿来)
- 小名浜港湾機能強化事業
- 浮体式洋上風力発電設備
「ふくしま未来」「ふくしま新風」

Ⅱ．平成29年度中間決算の概要

1. 平成29年度中間決算の概要

(単位:億円)	29年度 中間期	28年度 中間期	前年 同期比
経常収益(売上) ①	321	331	△9
修正コア業務粗利益(粗利益) ②	232	233	△1
資金利益(④+⑤-⑥-⑦) ③	195	197	△2
貸出金利息 ④	142	141	+0
有価証券利息・配当金など ⑤	62	62	△0
預金等利息(△) ⑥	4	5	△1
外貨調達コストなど(△) ⑦	5	1	+4
役務取引等利益(手数料収支) ⑧	39	38	+1
経費(⑩+⑪+⑮) ⑨	184	189	△4
人件費 ⑩	94	94	+0
物件費(⑫+⑬+⑭) ⑪	79	84	△4
一般物件費 ⑫	59	61	△1
減価償却費 ⑬	10	12	△2
預金保険料 ⑭	9	10	△0
税金(消費税、印紙税など) ⑮	10	10	+0
修正コア業務純益(営業利益)(②-⑨) ⑯	47	44	+3
有価証券関係損益 ⑰	7	11	△3
信用コスト(与信関係費用)(△) ⑱	繰入額 2	戻入益 △3	負担増 +6
その他臨時損益 ⑲	△2	1	△3
経常利益 ⑳	51	61	△10
税引前中間純利益 ㉑	50	60	△10
税金費用(法人税、住民税など) ㉒	13	16	△2
中間純利益 ㉓	36	44	△7

平成29年度中間決算のポイント

⑯修正コア業務純益 47億円 (前年同期比+3億円)

⑧法人関連手数料を中心とした役務取引等利益の増加。

⑪コスト構造改革等による物件費圧縮。



⑯銀行業務の根幹をなす本業部分の利益である修正コア業務純益(営業利益)は、前年同期比3億円増加の47億円。

⑳経常利益 51億円

⑰有価証券関係損益は、マイナス金利政策下のマーケット状況により売買損益が減少し、前年同期比減少。

⑱信用コストは予防的引当徹底等により、繰入額2億円計上。

業績予想と実績の対比

⑳㉓経常利益は51億円、中間純利益は36億円、業績予想を上回る利益を計上。

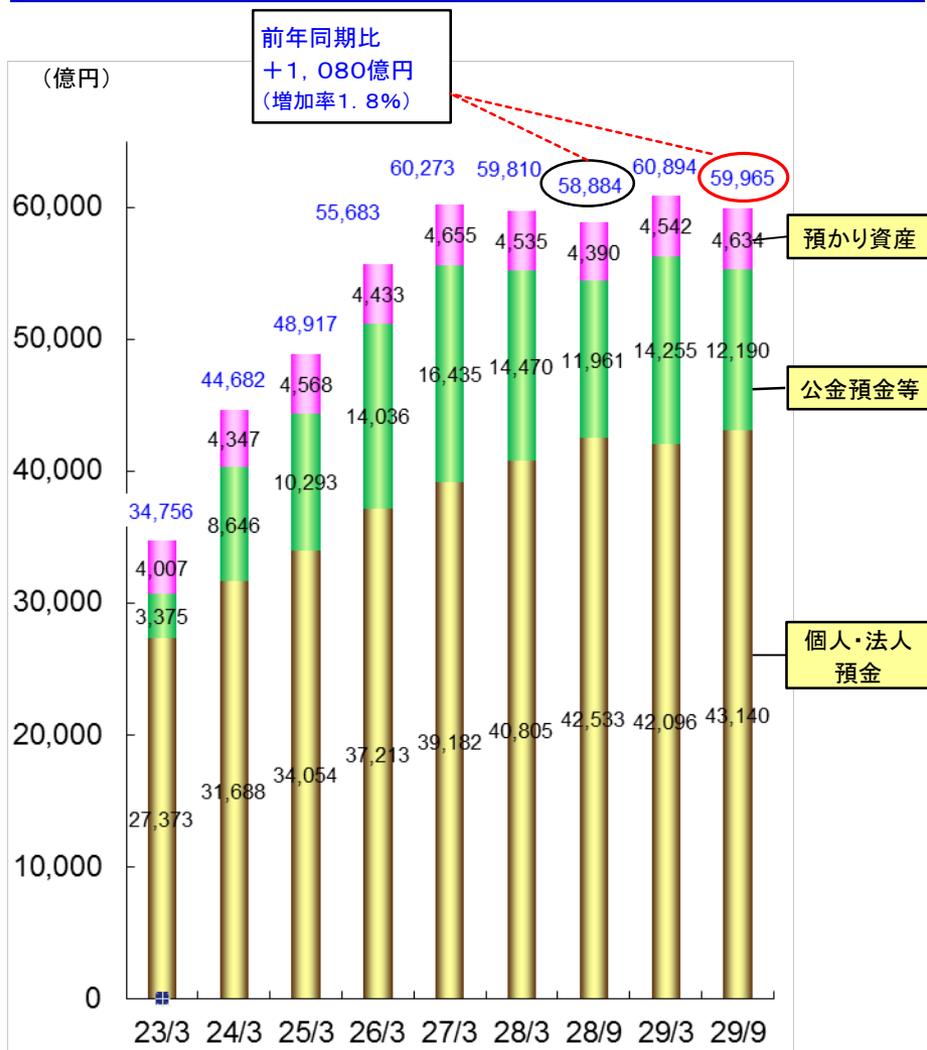
(単位:億円)

		平成29年度 中間期		
		業績予想	実績	(達成率)
単体	経常利益	50	51	102%
	中間純利益	35	36	104%

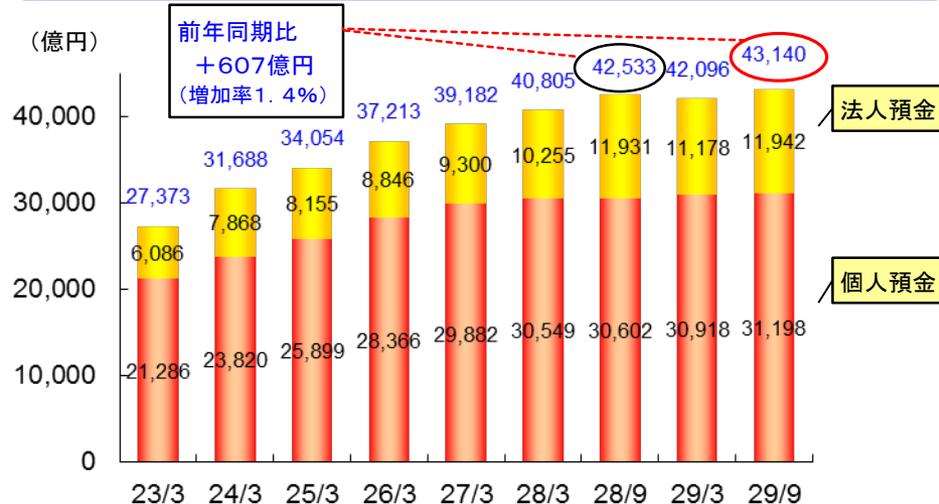
2. 業容関連 (1) 預かり資産の状況

総預かり資産残高【総預金+預かり資産】は前年同期比1,080億円増加。

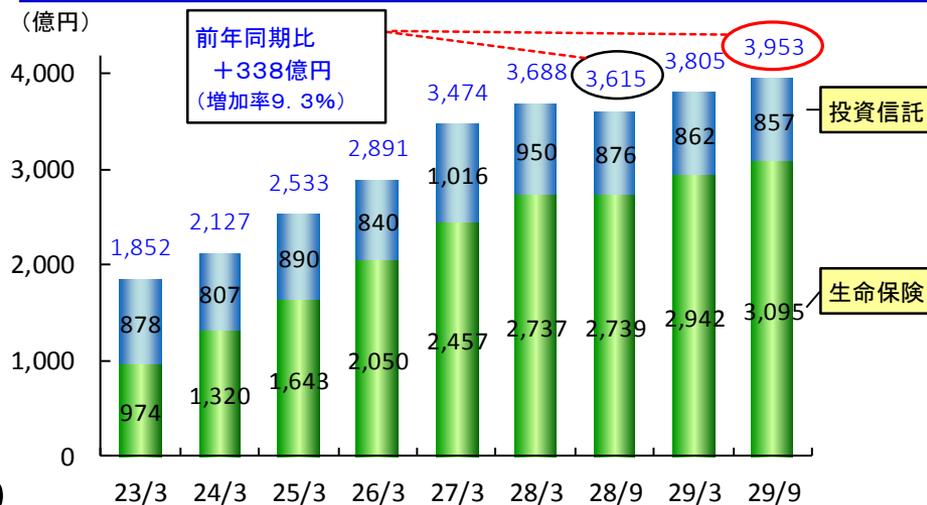
総預かり資産残高【総預金+預かり資産】の推移



個人預金・法人預金の推移



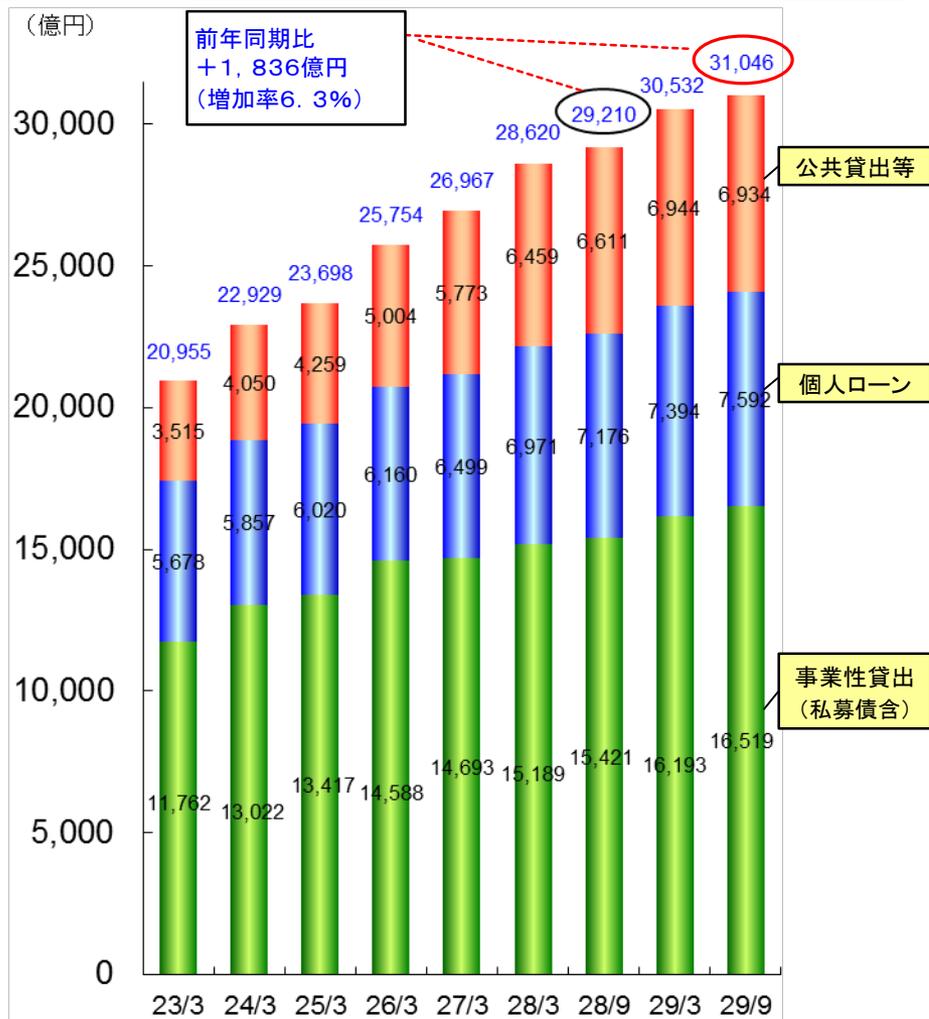
投資信託・生命保険の残高推移



2. 業容関連 (2) 貸出金の状況

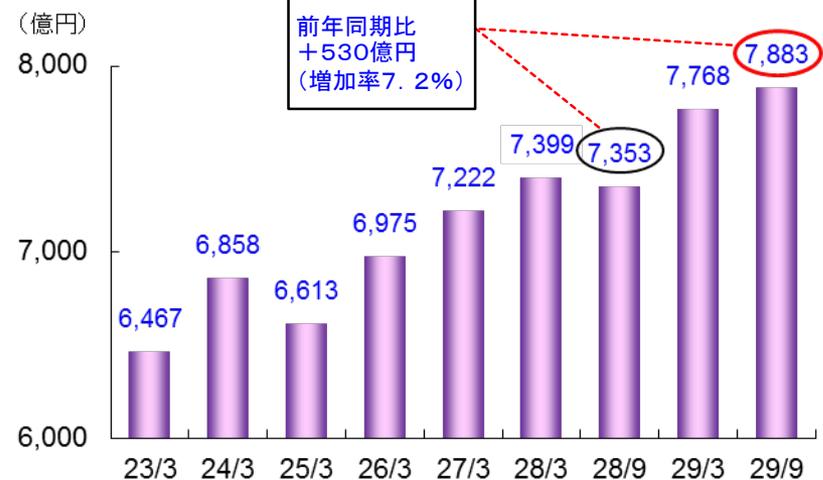
事業性貸出・個人ローンを中心として順調にボリューム増加。

貸出金残高の推移



中堅・中小企業向け貸出金残高の推移

中堅・中小企業・・・資本金10億円以下の企業および個人事業主(当行独自基準)



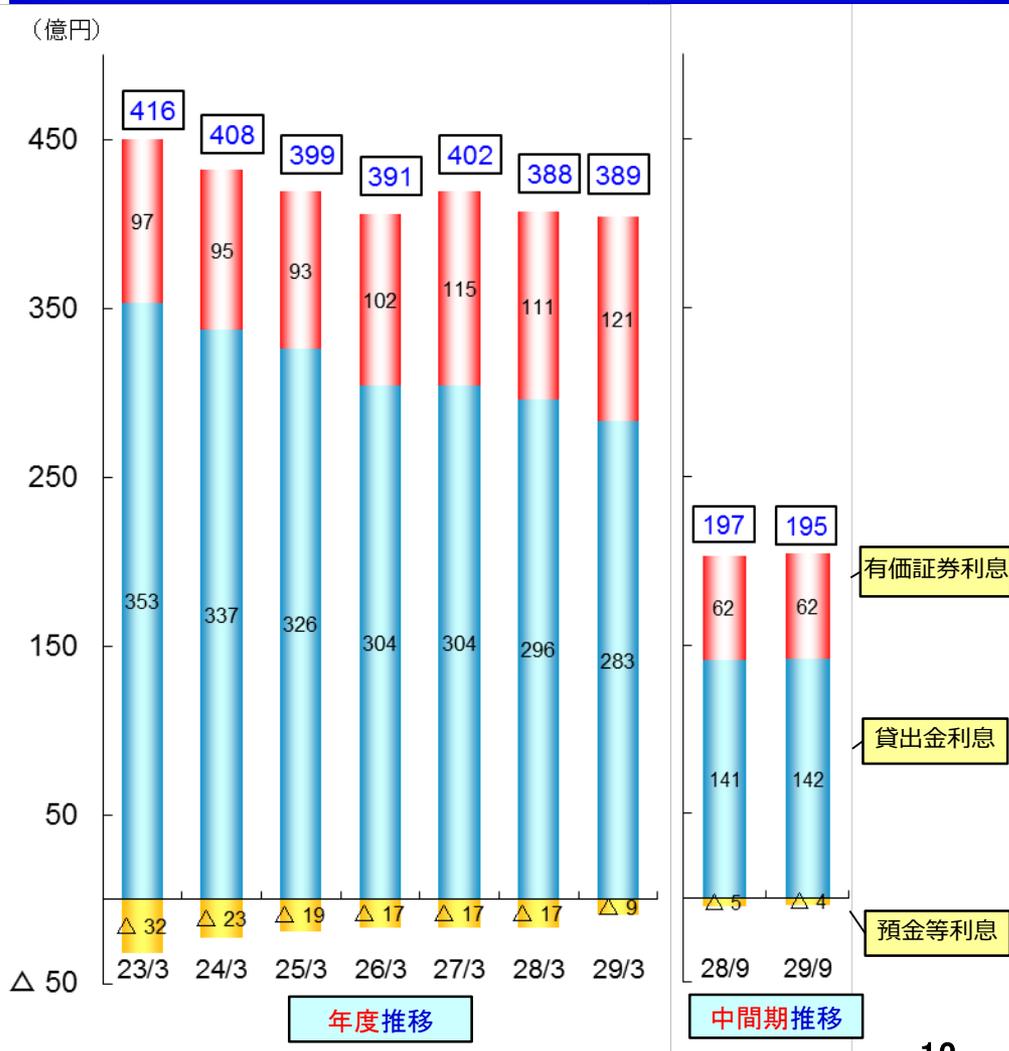
個人ローン残高の推移



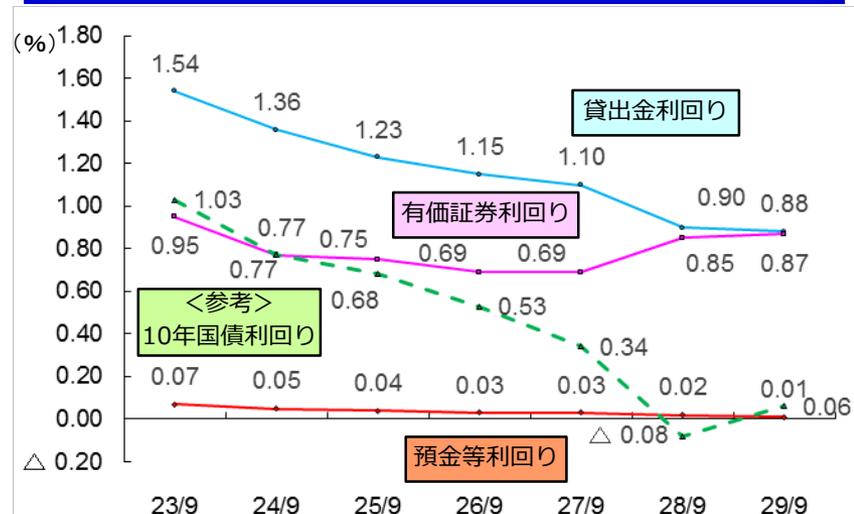
3. 収益関連 (1) 資金利益の状況

マイナス金利政策により運用利回りが伸び悩む中、貸出金のボリューム増強等に努め**資金利益は前年同期並み**を確保。

資金利益の内訳



利回りの推移



多様なファンドへの出資

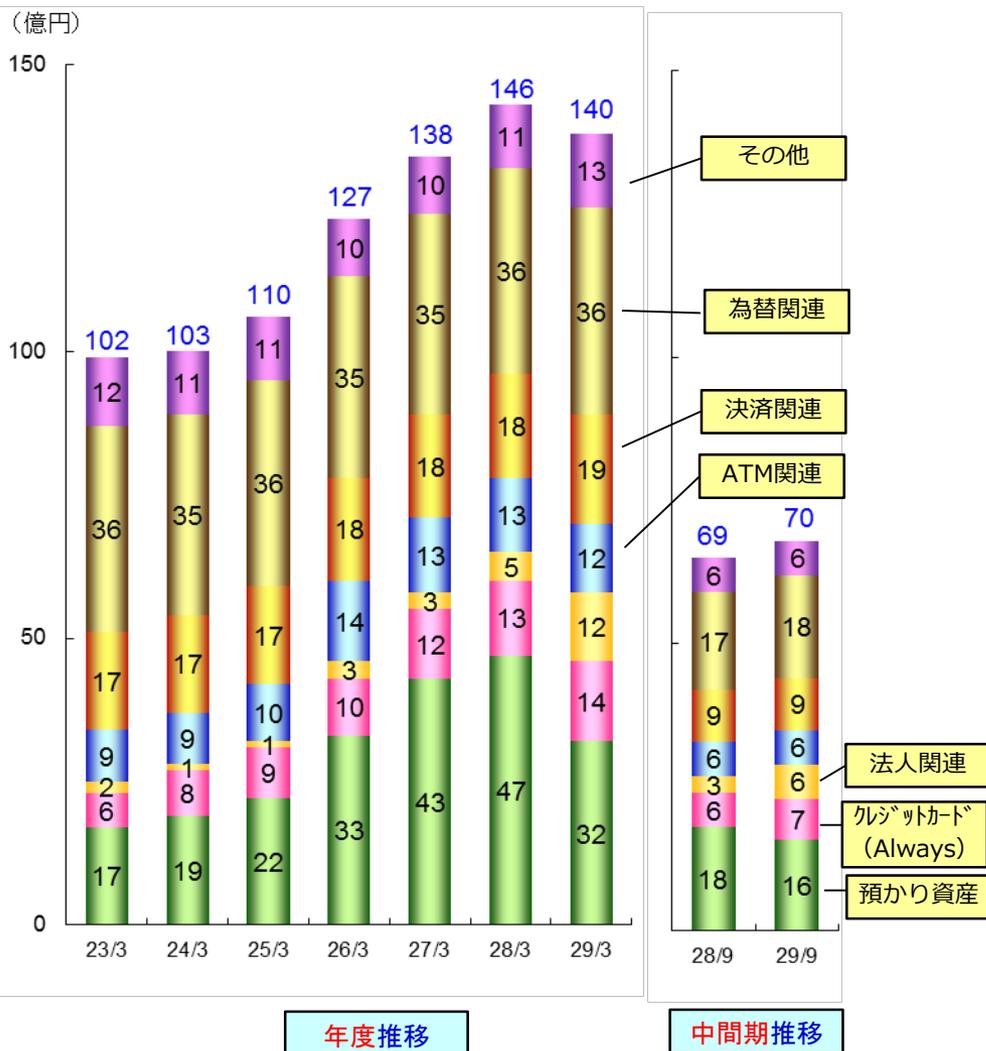
＜主な出資ファンド＞

- 米国シリコンバレーIT関連企業向けファンド
- 慶應義塾大学発ベンチャー企業向けファンド
- 地方活性化企業向けファンド
【福岡キャピタルパートナーズ（福岡銀行系）】
- 地方の事業承継企業向けファンド
- 大企業の事業再編向けファンド
【丸の内キャピタル（三菱商事系）】
- 大企業の事業再生支援向けファンド
【ジャパン・インダストリアル・ソリューションズ】

3. 収益関連（2） 役務取引等収益（手数料収入）の状況

法人関連手数料中心に前年同期比増加。預かり資産収益（銀行本体+とうほう証券）も前年同期比増加。

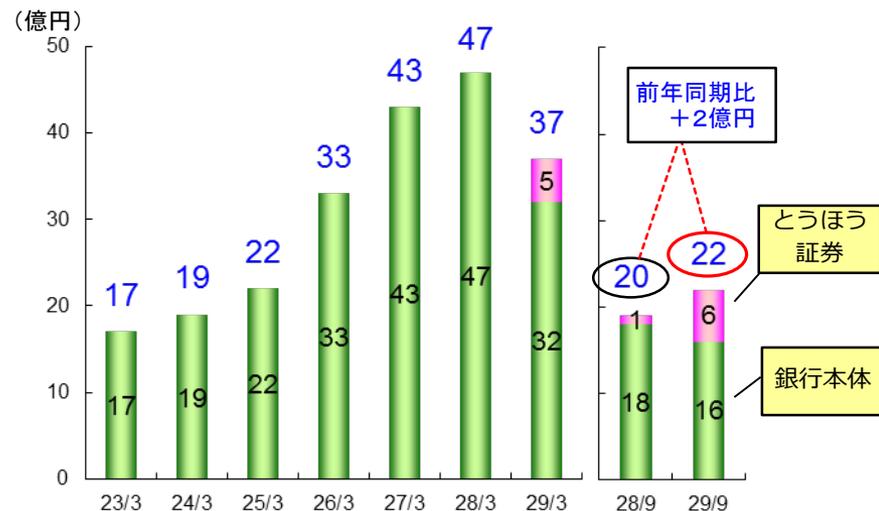
役務取引等収益の推移



法人関連手数料の推移



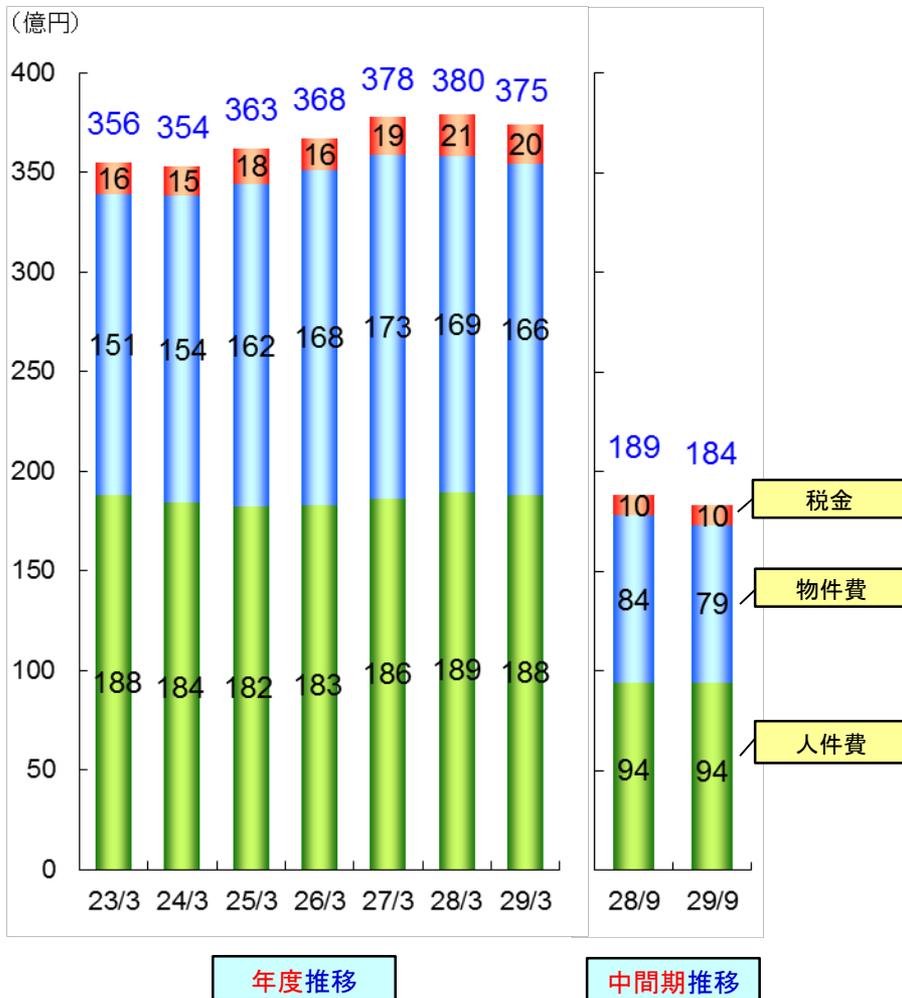
預かり資産収益の推移（銀行本体+とうほう証券）



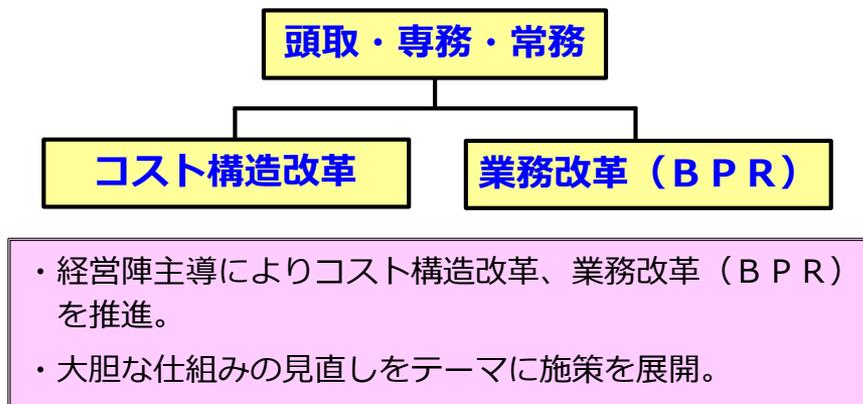
4. 経費

物件費はコスト構造改革や業務改革（BPR）の推進により前年同期比減少。

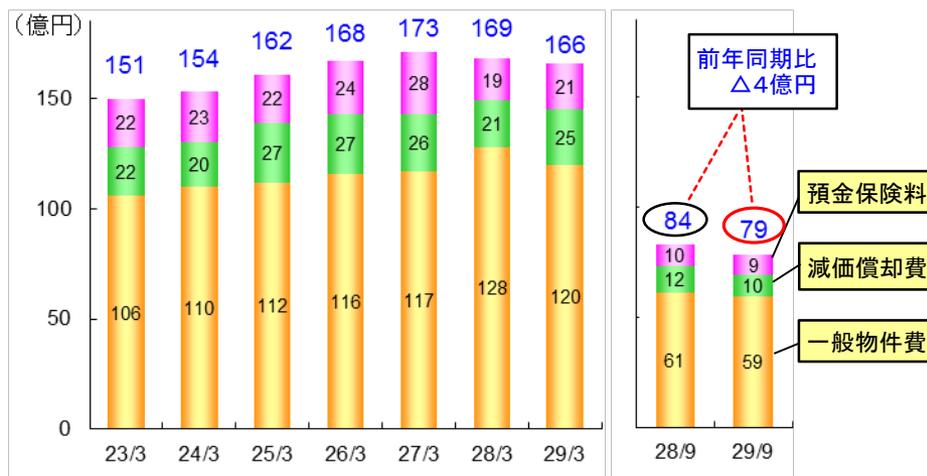
経費の推移



コスト圧縮の取組み



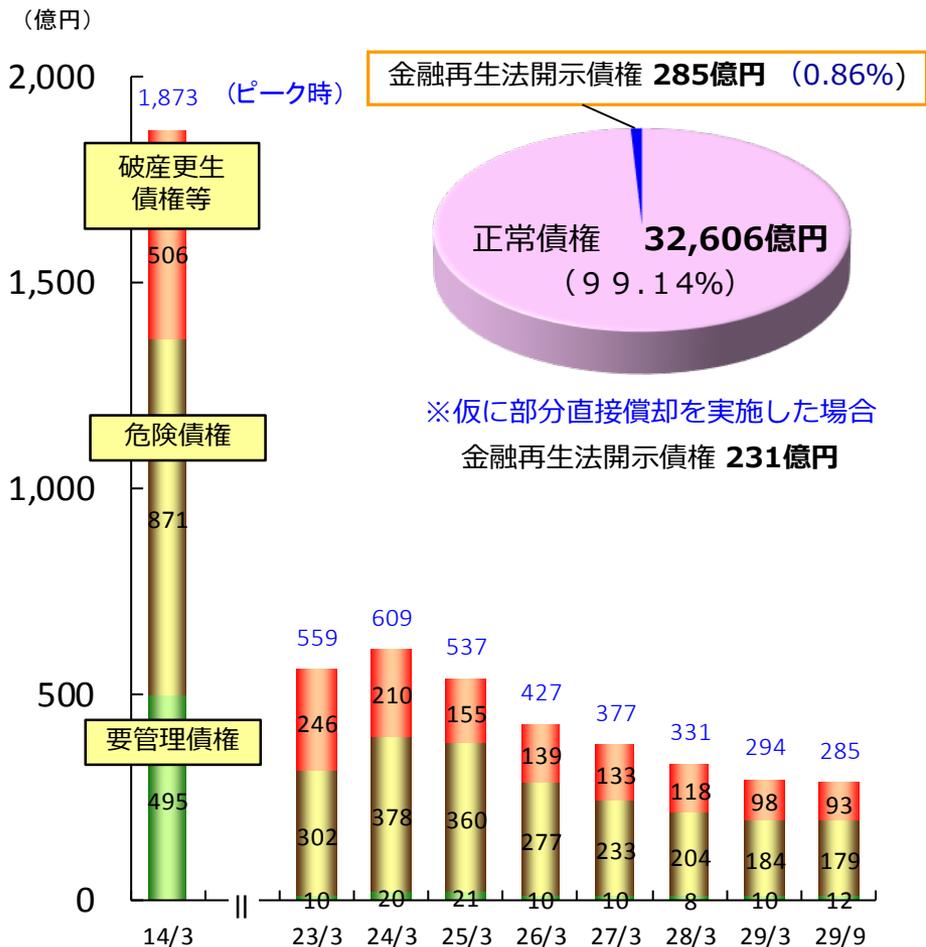
物件費の推移



5. 経営体質 (1) 貸出資産の質

金融再生法開示債権比率（≒不良債権比率）は**0.86%**まで低下。地銀トップクラスの水準を維持。

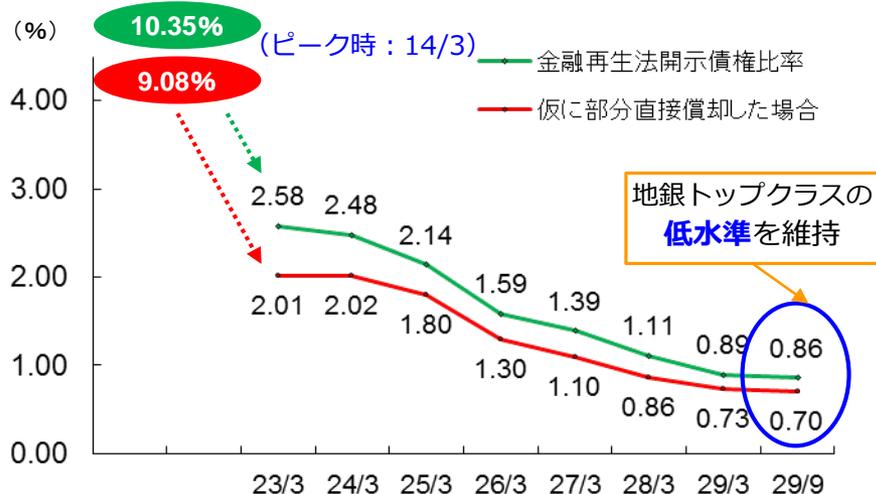
金融再生法開示債権の推移



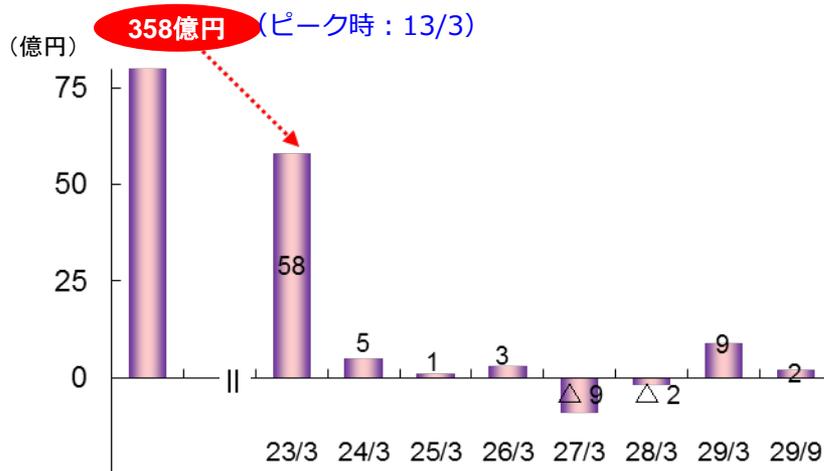
※部分直接償却

「破産更生債権等」について、回収困難と認められる額に対し個別貸倒引当金の計上ではなく、貸倒償却として債権額から直接減額すること。

金融再生法開示債権比率の推移



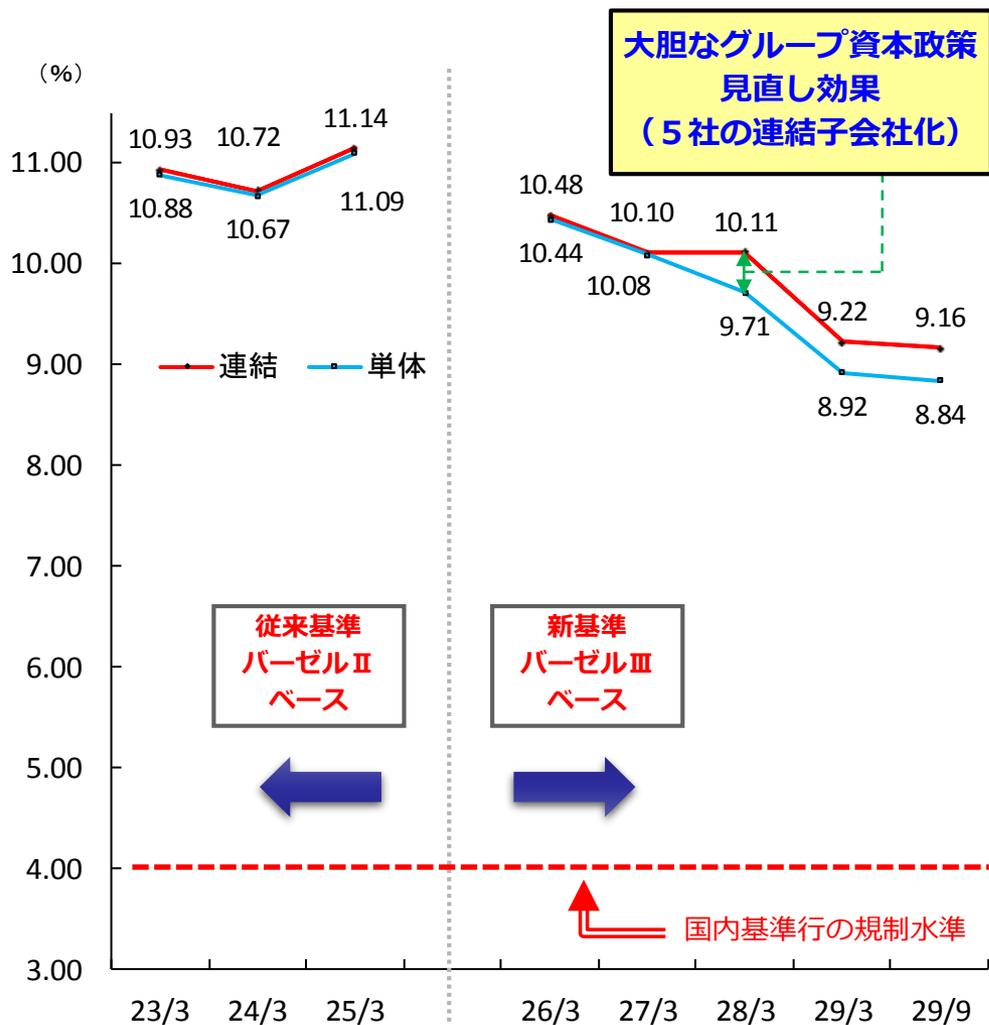
信用コストの推移



5. 経営体質 (2) 経営の健全性

自己資本比率は国内基準行の規制水準（4%）を十分に上回る。

自己資本比率の推移



自己資本および総資産等の推移

連結

(億円)

	29/3	29/9	増減
自己資本 (A)	1,994	2,008	+13
総資産等 (B)	21,621	21,911	+290
自己資本比率 (A/B)	9.22%	9.16%	△0.06%

単体

(億円)

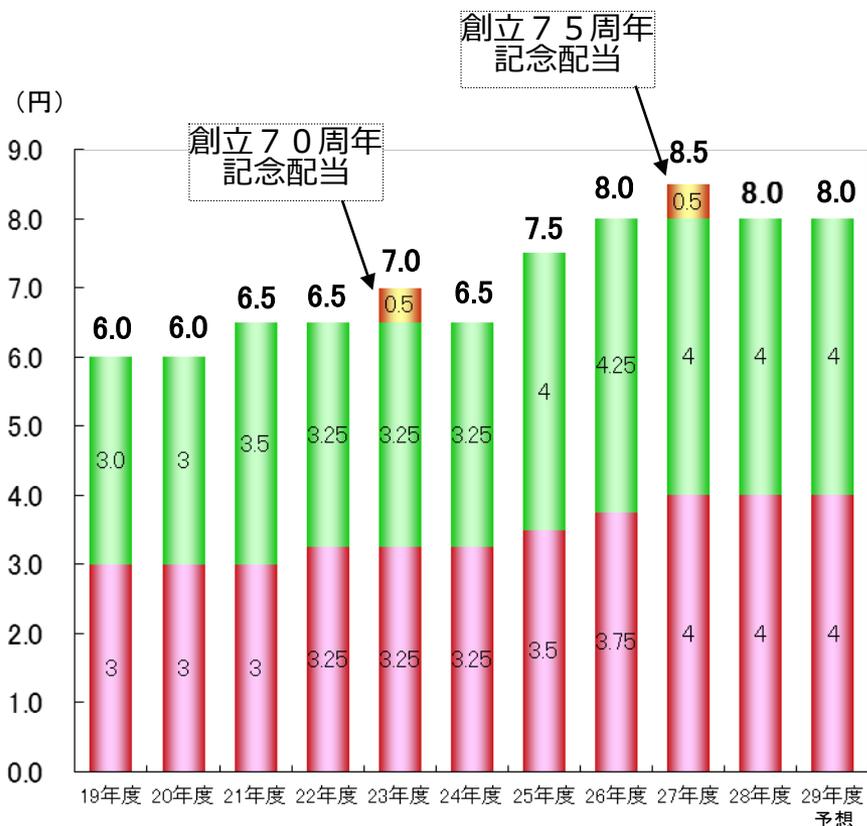
	29/3	29/9	増減
自己資本 (A)	1,926	1,937	+11
総資産等 (B)	21,582	21,896	+313
自己資本比率 (A/B)	8.92%	8.84%	△0.07%

6. 配当金・株主さまご優待制度

内部留保の充実による健全性の向上を図りながら、業績の成果に応じ弾力的に株主の皆さまへ利益を還元。
平成28年度は1株あたり年間8.0円配当。

1株あたり配当金

■ 中間配当 ■ 期末配当



株主さまご優待制度

保有株数・保有期間に応じた優待制度

保有株数	保有期間		
	1年未満	1年以上	5年以上
10,000株以上	3,000円 ギフトカード	8,000円 相当商品	10,000円 相当商品
5,000株以上 10,000株未満	2,000円 ギフトカード	5,000円 相当商品	8,000円 相当商品
1,000株以上 5,000株未満	1,000円 ギフトカード	3,000円 相当商品	5,000円 相当商品

<下記のカタログから1品または宿泊施設優待券を選択>
 [カタログⅠ] 『ふくしまからの贈りもの』
 [カタログⅡ] 『TSUBASAアライアンス共同特産品コース』

保有株式数1,000株以上のすべての株主さま

[定期預金金利優遇] (10万円以上300万円以内)

1年もの定期預金 **+0.2%金利上乘せ**

[投資信託手数料優遇] (120万円まで)

通常**申込手数料無料**

単元株式数(最低売買単位)の変更(平成29年8月1日から)

単元株式数を**1,000株**から**100株**に変更

⇒よりご投資しやすくすることで**投資家層を拡大**

Ⅲ. 東邦銀行の取組み

<中期経営計画> 進捗状況

長期目標

大きく・強く・たくましく®

メインテーマ

「とうほう“サミット”プラン」～裾野を広く・山を高く～
計画期間：27年度～29年度（3年間）

基本方針

I. ふくしまの
“復興から成長”への貢献

II. お客さまから選ばれる
銀行づくり

III. 持続可能な企業体質
の確立

計画策定時の前提

利回り	27年度	28年度	29年度	29年3月31日 実勢レート
TIBOR3カ月（注）	0.142%	0.260%	0.260%	0.057%
5年国債	0.035%	0.200%	0.200%	△0.118%
10年国債	0.300%	0.750%	0.750%	0.070%

（注）TIBORは、Tokyo Interbank Offered Rateの略で、東京の銀行間取引金利。

対外公表計数の進捗状況

項目	27年度 実績	28年度 実績	29年度 中計目標	29年度 計画（注）
当期純利益	100億円	73億円	125億円	75億円
自己資本利益率（ROE）	5.28%	3.83%	6%台	3.8%
自己資本比率	9.71%	8.92%	10%台	8.7%
中核的自己資本比率（注）	8.62%	8.06%	9%台	8.0%

（注）中核的自己資本は、自己資本から劣後調達を控除したもの

（注）金利情勢の変化等を踏まえ、中計目標を修正

1. ふくしまの“復興から成長”への貢献

(1) 地域の創生・発展への積極的な参画

当行独自の「投資ファンド」への取組み

第1号ファンド (25年8月～28年4月) 「とうほう・次世代創業支援ファンド」

10億円
投資完了

⇒ 当行の営業地域内で事業を営む創業期・第二創業期・成長期のお客さまを支援
福島県・宮城県に14企業に投資

第2号ファンド (28年4月～) 「とうほう・ふるさと総活躍応援ファンド」

投資総額3億円 (残7億円)

⇒ 創業期や成長分野などのお客さまを積極的に支援
福島県・宮城県・東京都の8企業に投資

<主な投資先>

バイオマス発電・医薬品ネット販売・創薬バイオ・
整体/介護・観光誘致企画など

東邦リースがファンド運営に初参入

第3号ファンド (29年8月～) 「とうほう事業承継ファンド」

東北地銀初

⇒ ゆうちよ銀行と連携し、事業承継局面における株式の集約ニーズのあるお客さまを支援

出資総額
5億円

株式集約ニーズのあるお客さま

株式
引受

ファンド

出資
出資・
運営

当行・ゆうちよ銀行 各2億円

東邦リース 2千万円
山田ビジネスコンサルティング 8千万円

地方創生への取組み

- ◆ 「仕事体感ツアー」の開催
(福島県・東京海上日動火災保険との連携協定施策)
⇒ 福島県内の職場に興味を持ってもらうため、県内や首都圏の大学生を対象に職場見学会を実施



< 福島県庁 >



< 東邦銀行 >



< 東京海上日動 >

- ◆ とうほう・地方創生結婚応援プロジェクト

⇒ マリッジパートナーズと連携し、婚活イベントを開催
・婚活マッチング支援イベント (国見町)
・婚活・移住セミナー (会津坂下町・会津美里町)

次世代経営者の支援

- ◆ 「とうほう次世代経営者倶楽部」

⇒ “企業の成長シリーズ” セミナー、次世代経営塾の卒塾生報告会を年1回開催

会員数：953名 (うち女性41名)



< 次世代経営者セミナー >

- ◆ 「とうほう次世代経営塾」 (現在5期目)

⇒ 事業力・経営力の強化をテーマとした実践講座を年8回開催

塾生：累計144名 (うち女性18名)



< 卒塾生による報告会 >

1. ふくしまの“復興から成長”への貢献 (2) お取引先の販路拡大支援

第4回 「ふるさと応援！ふくしま酒まつり」



於：東京「丸ビル」

福島県酒造協同組合・ふくしま館MIDETTE（福島県）等と連携し、東京「丸ビル」でふくしまの酒や県産品をPR

入場者数：約2千人・地酒セット販売数：約2千セット

第3回 ふるさと応援「在京福島県経済人の集い」の開催

- ◆首都圏の本件出身経済人、福島県知事、県内首長、商工会議所会頭等が一堂に会する機会を提供（毎年2月）



於：帝国ホテル

総勢280名が参加

<本件を通じた成果>

- K社（菓子メーカー）
地元郷土料理の味を主力商品のお菓子で再現し、福島を支援
- N社（消防設備製造メーカー）
28年夏 県北地域の工業団地に工場進出、地元雇用26名

第11回 食の商談会 ふくしまフードフェア



参加企業 約190社



県内最大規模の食の展示・個別商談会（29年10月）

復興支援通販事業の企画・実施



福島県産品の販売支援を目的とした通信販売事業企画

累計販売個数：185千個
累計販売金額：757百万円
【29年9月末までの累計】

海外商談会の企画・実施

- ◆Mfair2017
バンコクものづくり商談会（29年6月）お取引先 6社出展
- ◆FBC上海2017
ものづくり商談会（29年9月）お取引先 6社出展



< Mfair2017バンコクものづくり商談会 >

1. ふくしまの“復興から成長”への貢献

(3) 多様な資金ニーズへの対応と海外マーケットへの進出支援

「とうほう・ふるさと総活躍応援私募債」の取扱い

- ◆発行手数料の一部から、お客さまが希望される学校等へ備品・図書等を寄贈（28年6月～）

29年9月末実績計
80件・102億円



<主な寄贈先>

保育園・幼稚園、小・中・高校、神社
福祉・養護施設、美術館、消防団など

新産業金融（エネルギー・ヘルスケア・ロボット・環境分野等）推進

- ◆福島新工ネ社会構想やロボット・航空宇宙産業等の研究開発・産業創出拠点整備が進展

新産業金融推進室の創設（29年4月）

⇒ 地域の産業創出・成長産業支援に積極的に関与

○ 再生可能エネルギーへの取組み

- ◆福島県が掲げる「福島県再生可能エネルギー推進ビジョン」を金融面から推進

<再エネ向けプロジェクトファイナンス（注：以下PF）の組成実績>
(件/億円)

	26年度	27年度	28年度	29/上期	累計
シ・ローン組成件数	4	4	8	2	18
うちPF	1	2	5	2	10
シ・ローン組成金額	90	188	437	166	883
うちPF	39	55	265	166	525

(注) 特定の事業が生む収益・資産価値に依拠した資金調達

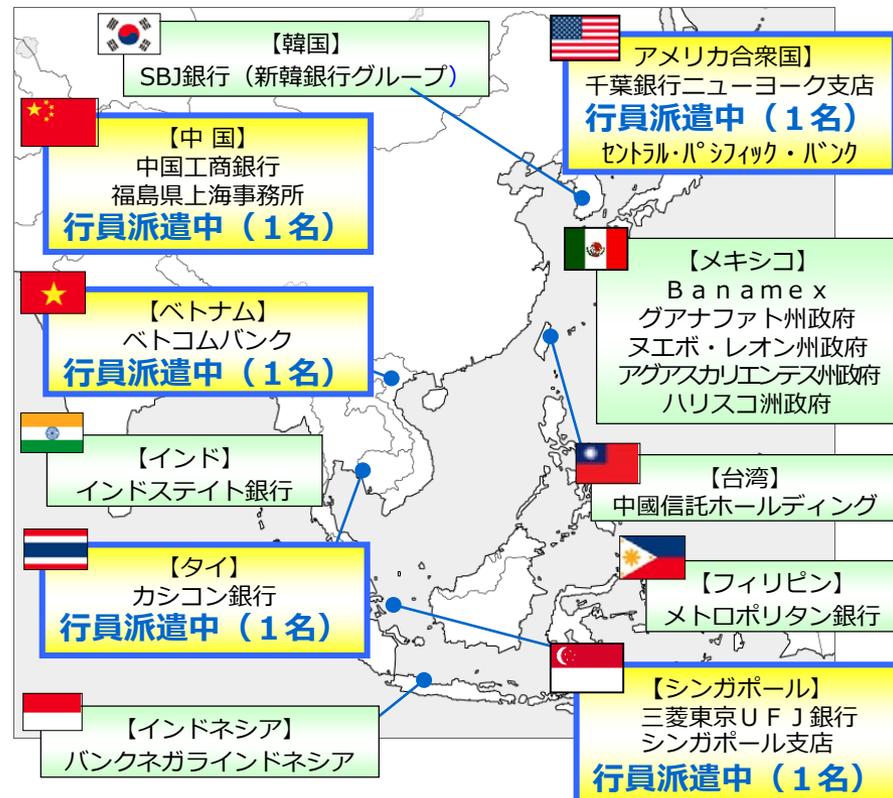
海外マーケット進出支援

○ 独立行政法人国際協力機構（JICA）東北支部との業務提携

- ◆海外へ事業展開を希望されるお客さまの支援と福島県経済の国際化に貢献
 - ・セミナーの開催
 - ・進出支援の協力 など



○ 海外銀行等との積極的な業務提携



1. ふくしまの“復興から成長”への貢献 (4) 経営課題提案型営業・事業再生支援等の取組み

円滑な事業継承支援・M&A業務の取組み

◆ 営業店と本部、外部専門機関と連携し、お客さまの課題解決に向けたサポートを実施

◆ 「事業承継・M&Aエキスパート」
資格保有者 約690名

東北地区で認定者数 第1位

◆ 日本M&Aセンター主催 (地銀62行加盟)
「バンクオブザイヤー表彰」
⇒ 4年連続受賞 (26年～29年)



26年：バンクオブザイヤー (最高賞)
27年：ディールオブザイヤー・特別賞 (成約案件優秀賞)
28年：地域貢献大賞
29年：地域貢献大賞 【M&A】企業や事業の譲渡・合併・買収等の総称

【事業承継支援対応】

	26年度	27年度	28年度	29/上期
対応先数 (延べ)	323	357	480	203

【M&A関連業務の実績】

	26年度	27年度	28年度	29/上期
相談対応件数	70	62	67	41

事業後継者の婚活支援・経営幹部人材確保支援

婚活支援紹介実績
27年度 11件
28年度 11件
29年度上期 14件

人材確保支援紹介実績
27年度 29件
28年度 40件
29年度上期 23件

課題解決に向けたグループ一体となった取組み

IT化

東邦情報システム

◆ お客さまのIT化ニーズをサポート
⇒ HP作成・給与計算システム・給与明細配信システム
経費管理システム・顧客管理システムの導入など

リース

東邦リース

◆ お客さまの設備投資を金融面からサポート
◆ リース媒介業務の開始により、銀行融資とリース商品を一体的にご提案 (29年2月～)
⇒ 資金調達の多様化・資金の効率的運用が可能に！

復興支援・事業再生支援の取組み

復興支援ファンド

実績：36件/約88億円

◆ ふくしま応援ファンド 総額 50億円
◆ 東日本大震災中小企業復興支援ファンド 総額 88億円
◆ ふくしま復興・成長支援ファンド 総額 50億円

二重ローン再生支援

実績：64件/約45億円

	支援決定・買取決定済
福島産業復興機構	30件
東日本大震災事業者再生支援機構	34件

経営改善支援

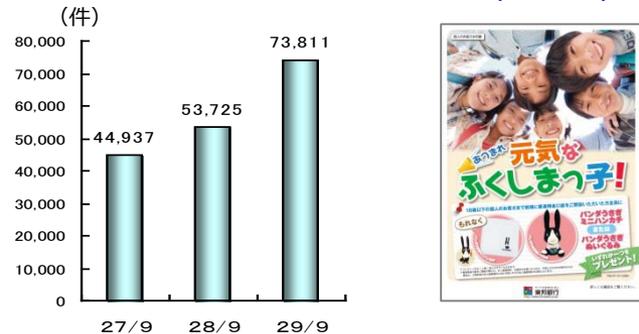
◆ ランクアッププロジェクト (29年度～)
⇒ お客さまの経営改善支援、成長支援への取組みをさらに強化

2. お客さまから選ばれる銀行づくり (1) 個人のお客さまサポートのための取組み

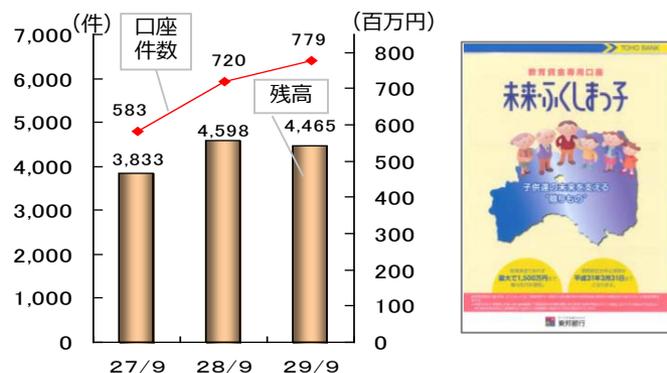
ライフサイクルに応じた多様な商品をご提案

誕生〜若年層

「あつまれ 元気なふくしまっ子！」(預金口座)



教育資金専用口座「未来・ふくしまっ子」



相続専用定期預金「とうほう・想いのかけはし」



現役層

シニア層

カード事業への取組み

【銀行本体発行クレジットカード】
東邦Alwaysカード

東北地銀「初」

30.9万会員

(29年9月末)

- キャッシュカード機能とクレジットカード機能が一体
- クレジットカード単体型もあり

【即時決済】

東邦Alwaysデビットカード [JCB]

東北地銀「初」

(28年6月～)

4.5万会員

(29年9月末)

- 利用代金を口座から**即時決済**
- 国内外問わずJCB加盟店で利用可能



プレミアムカード[JCB] ザ・クラス

(29年8月～)



(単体型のみ)

- 独自の優待サービス・ホテル割引・各種手配・情報提供・クーポン等
- ゴールドカードの利用限度額を上回る設定可

JCB見守りメールサービス

全国「初」

(29年10月～)



- デビットカードの利用情報をご家族へメールで送信
- 離れて暮らすご家族は、メールで安否確認が可能

2. お客さまから選ばれる銀行づくり (2) 資産運用のお手伝い

「遺言信託・遺産整理業務」の取扱開始

東北地銀「初」・唯一

(29年6月1日取扱開始)

- お客さまの円滑な資産承継・相続対策のお手伝い

遺言作成サポートサービス

- 財産台帳作成
- 資産配分案の検討
- 資産承継のための報告書作成

遺言信託

- 遺言書作成のご相談
- 遺言書保管
- 遺言書に基づく遺産分割手続き

遺産整理業務

- 相続財産調査・財産目録作成
- 遺産分割協議書作成アドバイス
- 遺産分割手続きの実施

6月～9月までの
相談実績172件



とうほう証券株式会社

東北・北海道地区
「初」の地銀系証券



29年9月19日 開業1周年記念セミナー



- お客さまの様々な資産運用ニーズのお手伝い

【店舗一覧】 福島支店 (東邦銀行本店営業部内)
郡山支店 (東邦銀行郡山営業部内)
会津支店 (東邦銀行会津支店内)
いわき支店 (東邦銀行いわき営業部内)
原町営業所 (南相馬市内)

グループ全体の預かり資産残高

(単位：億円)

項目	27/3	28/3	29/3	29/9
グループ合計	4,573	4,614	4,878	5,008
投資信託	1,017	950	940	981
生命保険	2,370	2,737	2,943	3,095
金融商品仲介	5	80	50	41
公共債	1,181	847	737	681
外債・仕組債	-	-	169	161
株式	-	-	39	49

2. お客さまから選ばれる銀行づくり (3) 個人のお客さま向けローンの取組み

ローン専門店の体制

福島県内7カ店
宮城県内3カ店



【ローン専門店の個人ローン残高推移】

(単位：億円)

26/3	27/3	28/3	29/3	29/9
2,829	3,144	3,508	3,681	3,818

住宅ローンの推進

○「東邦スーパー住宅ローンプラス7」

【対象資金】

- ・住宅資金の100%
- ・さらに諸費用・目的資金や他のローンのおとりまとめ資金も**最大700万円まで**プラスご融資



<とうほう>教育ローン

○2つのお借入れタイプ

- ・一括借入方式
- ・カードローン方式

教育ローンのお借換えOK!

<とうほう>教育ローンのPOINT

- 卒業まで元金の返済は据置OK!
- 進学先が決まる前でもお申込みOK!
- 教育関連費以外にも**50万円まで**ご利用OK!

詳しくは店頭の説明書をご覧ください。

非対面チャネルによるローン申込み

○TOHOスマートネクスト「WEB契約」等



2. お客さまから選ばれる銀行づくり (4) 店舗・チャネル戦略

店舗戦略（震災以降）

<p>【新設】 八山田支店 (24年11月)</p> 	<p>【店舗移転】 矢吹支店 (25年3月)</p> 	<p>【店舗建替】 郡山中町支店 (26年4月)</p> 	<p>【新設】 名取支店 (26年5月・27年7月)</p> 	<p>【店舗建替】 谷川瀬支店 (26年11月)</p> 	<p>【店舗移転】 滝沢支店 (27年10月)</p> 	<p>【新設】 米沢支店 (28年4月)</p> 	<p>【店舗再開】 檜葉支店 (28年4月)</p> 
<p>【店舗再開】 小高支店 (28年12月)</p> 	<p>【店舗建替】 郡山駅前支店 (29年2月13日)</p> 	<p>【店舗移転】 三春支店 (29年4月17日)</p> 	<p>【店舗再開】 富岡支店・ 大熊支店 (29年4月6日)</p> 	<p>【店舗再開】 浪江支店・ 双葉支店 (29年6月16日)</p> 	<p>【新設】 仙台泉支店 (29年6月28日)</p> 	<p>【新設】 郡山金屋支店 (29年11月17日)</p> 	<p>【新設】 仙台南支店 (30年1月予定) <i>宮城県内5カ店目</i></p> 

東邦銀行ならではのATMサービス

<p>店内ATMコーナーの 営業時間は</p> <p>毎日 朝7時～夜10時</p> <p>いつでもご利用OK! (27年6月開始)</p>	<p>東邦銀行本支店宛の お振込みは</p> <p>毎日 朝7時～夜10時</p> <p>土日もすぐお振込み! (27年6月開始)</p>	<p>お預入れ、お引出しは</p> <p>毎日 朝7時～夜10時</p> <p>いつでも無料! (25年4月開始)</p>
--	---	---

<土・日営業実施店舗>

○北福島支店 ○八山田支店 ○郡山金屋支店
○滝沢支店 ○谷川瀬支店 ○いわき鹿島支店

移動店舗車「とうほう・みんなの移動店舗」

- 不測の事態にも金融サービスを提供できる体制整備
 - 避難されているお客さまへの利便性提供
- 【営業ポイント】(29年10月末現在)
- いわきニュータウン(いわき市)
 - ひろのてらす(広野町)



人型ロボット「Pepper (ペッパー)」

配属店以外に出張することもあるよ!

【配属店】
本店営業部・郡山営業部・会津支店
いわき営業部・名取支店



福島県内
金融機関
「初」

3. 持続可能な企業体質の確立

(1) 地方銀行連携・フィンテック分野への取組み

TSUBASAアライアンスへの参加

TSUBASA金融システム高度化アライアンス



T & I イノベーションセンター株式会社 (TSUBASA & IBM) (28年7月1日設立)

フィンテックを活用した新たなビジネスモデルを共同で検討

28年度の取組み

人工知能技術活用に向けたプロジェクトを開始

フィンテックビジネスコンテストを開催

てのひら認証決済の実証実験を開始

29年度の取組み

AIの文章解析技術導入に向けた実証実験を開始

API共通基盤の開発着手

※ API (Application Programming Interface) とは、お客様の同意に基づいて銀行等のシステムに外部から安全に接続する仕組み。

メールカーの3行共同運行開始 (29年10月～)

- 当行・福島銀行・大東銀行の3行メールカー共同運行を開始。
- 同一エリアにある3行の配送業務を合理化・効率化。
- 車両運行台数の削減により環境への配慮も実現。



〔29年9月8日 3行連携協定締結式〕

主なフィンテックの取組み

FinTech (フィンテック) とはFinanceとTechnologyの2つを併せたIT技術を活用した金融サービス

「マネーフォワードfor東邦銀行」取扱開始

(28年6月～)

- 家計簿の自動作成
- インターネットバンキングとの連携
- 東邦Always・デビットカードとの連携



ロボ・アドバイザー「ポートスター」提供開始

(28年8月～)

- 当行ホームページでお客さまに適した資産配分を自動的にご案内



国内外為替コンソーシアム参加

(28年10月～)

- 当行は運営幹事行。
- 事務局はSBIホールディングス株式会社等(参加42行)
- 新技術により24時間リアルタイムでの送金インフラ構築を目指す

「TKCモニタリング情報サービス」導入

(29年1月～)

- TKCが提供する会計ソフトを利用するお客さまの財務データをインターネットから取得し、与信審査等に活用

スマートフォン用「ポータルアプリ」提供開始

(29年3月～)

- 簡単・便利に各種サービスをご利用いただけるよう様々なサービスを本アプリに集約



電子マネーチャージ対応 (29年4月～)

- 当行の口座から直接・即時にLINE PayやYahoo!マネーへの電子マネーチャージが可能に

3. 持続可能な企業体質の確立 (2) 多様な働き方の推進と働き方大改革

働き方大改革

朝型勤務

業務効率の上がる“朝型”へシフト
朝 6:30から勤務可能



フレックスタイム制

従業員が日々の始業・終業時間を選択

コアタイム（必須勤務時間 11:00～16:00）を
解除し、勤務時間すべてフレキシブルタイム

とうほう Always Premium Wednesday !!

「プレミアムフライデー」+「生き生きリフレッシュデー」
毎週水曜日、通常よりも早めに業務を終え、
心身をリフレッシュ

企業表彰・受賞・認定

女性活躍推進法に基づく優良企業認定「えるぼし」を取得



※厚生労働大臣認定 愛称「えるぼし」2段階目
女性活躍推進法に基づく行動計画の達成状況（29年9月末現在）
全役職者に占める女性の割合 **16.5%**（目標20%以上）
女性総合職の平均勤続年数 **13.1年**（目標15年以上）

次世代育成支援対策推進法に基づく特例認定

「プラチナくるみん」を取得

※厚生労働省より受ける子育て支援の最高位の認定
新基準後東北初、かつ福島県内唯一の認定企業



12県知事による「日本創生のための将来世代応援知事同盟」
「将来世代応援企業賞」を受賞

「パートタイム労働者活躍推進企業表彰・優良賞
（雇用均等・児童家庭局長優良賞）」

「仕事と家庭の両立」支援体制の拡充

短時間勤務

1日4時間、5時間、6時間勤務に加え、
週4日・1日8時間勤務（週休3日）が可能

職員向け保育施設「とうほう・みんなのキッズらんど」

3カ所目

30年3月開園予定！！

（ローンプラザ福島支店隣地）



福島市 平成26年10月開設
累計利用者数 **36名**

郡山市 平成28年1月開設
累計利用者数 **19名**

全国初！「イクまご休暇」

孫のための育児休業制度
累計利用者数 **22名**



「介護休暇」

家族介護のための休暇 累計利用者数 **16名**

TOHO WALK BIZ（ウォークビス）

通勤時に以下の靴や鞆を**推奨**

靴：スニーカー、ウォーキングシューズ

鞆：デイバック、リュック等

29年11月
WALK BIZ スタート！

「チャレンジふくしま県民運動」
に参画して、足元からの**健康づくり**
に取組み



陸上部による正しいウォーキング講座

3. 持続可能な企業体質の確立 (3) 人材育成への取組み

研修所「とうほう庭坂キャンパス」

28年2月 全面リニューアル

最大宿泊人数	112名
講堂	130席
研修室6室	78席
食堂	130席

グラウンド（野球2面）
室内練習場、ブルペン併設
テニスコート（6面）



東北地銀 初!

「模擬店舗」

窓口業務を実際の設備で学ぶことができる



TOHO Morning School & TOHO Evening School

働き方大改革

業務開始前または業務終了後
の時間を**自己啓発**に**有効活用**!

“朝” “夕”の時間を有効に
活用することが可能に



eラーニングシステム「とうほうホームラーニング」

スマートフォン・タブレット・自宅パソコンで在宅による
自己啓発業務知識の習得

登録者数 **2,446名**
年間 **7.2万閲覧**

休職中の職員も活用可能

行外研修派遣

派遣数は**地方銀行トップクラス**

- 地方銀行協会研修派遣
- 全国銀行協会研修派遣
- 生命保険会社派遣
- 証券会社派遣
- 金融財政事情研究会 FP（ファイナンシャルプランナー）講座派遣
- 日本生産性本部派遣
 - ・経営コンサルタント養成講座
 - ・ダイバーシティ・マネジメント・カレッジ
- 中小企業大学校派遣
 - ・中小企業診断士養成課程
- 大学院・大学校派遣
 - ・慶應義塾大学ビジネススクール（経営幹部セミナー）
 - ・グロービス経営大学院（エグゼクティブ・スクール／GES）
 - ・グロービス経営大学院（マネジメント・スクール／GMS）
 - ・東洋大学大学院（PPPスクール（注））
 - ・福島大学人文社会学群（夜間・現代教養）
- 官公庁、一般企業等への派遣
 - ・国交省、福島県、福島市などの官公庁
 - ・3メガバンク、政府系金融機関
 - ・大手監査法人/大手税理士法人
 - ・東北観光推進機構
 - ・大手商社
 - ・大手M & A 仲介会社
 - ・大手リース会社
 - ・官民ファンド
 - ・大手不動産会社
 - ・大手シンクタンク
 - ・大手再生可能エネルギー事業会社 他

（注）PPP（Public Private Partnership：公民連携）

3. 持続可能な企業体質の確立 (4) 活発なクラブ活動

「陸上競技部」「野球部」「吹奏楽部」「合唱部」など16クラブ総勢300名が活動中

陸上競技部



青木選手：女子4×400mR日本記録保持者
北京オリンピック 出場
2009、2016世界選手権代表
紫村選手：2013、2017世界選手権代表



紫村選手：2017年 世界選手権 日本代表



全日本実業団 女子4×100mR
大会7連覇

水戸市長旗
第25回東日本選手権
福島県大会優勝
全国大会出場
(3年連続4度目)



野球部



TOHOカルテット



ボランティアクラブ

青木選手：
2017年 日本選手権 400mH 優勝



全日本実業団 総合優勝



合唱部・吹奏楽部



テニスクラブ

世界パラ陸上選手権
【視覚障害T13クラス】

- 100m 佐藤選手 7位
- 200m 佐々木選手 5位
- 日本新記録、アジア新記録**
- 佐藤選手 6位
- 400m 佐々木選手 6位
- アジア新記録**



Photo by 高村 もと

「とうほう・みんなのドリーム号」



- 研修や野球部など行内
クラブ活動時に活躍
- 災害時の人員・物資輸送
等にも活用

3. 持続可能な企業体質の確立 (5) CSR (地域貢献・社会貢献活動) の取組み

株式会社 とうほうスマイル

東北・北海道地区初

ハンディキャップを持つ社員が
中心となる**100%出資特例子会社**
(24年3月設立)



- ◆ 為替エントリー業務
- ◆ 各種発送業務
- ◆ ICキャッシュカード、手形、小切手、名刺、ポスター作製他

(公財) 東邦銀行教育・文化財団

文化・スポーツ活動助成事業

これまでの助成実績

助成先 **約820団体**
助成総額 **約1億円**



原郷のこけし群 西田記念館
福島市荒井字横塚3-183
(アンナガーデン内)
開館時間 AM9:00~PM5:00

奨学金事業

これまでの給付実績

奨学生 **約470名**
給付総額 **約2億7千万円**



アビリンピック (注)
全国大会
オフィスアシスタント種目
銅賞受賞!!

(注) アビリンピックとは全国
障がい者技能競技大会

ふくしまアビリンピック
ワード・プロセッサ部門
金賞受賞!
パソコンデータ入力部門
銀賞受賞!



大リーガー上原浩治さん 野球教室



福島の未来を担う小中学生のための特別企画

**「大リーガー上原浩治恩返し
夢教室～がんばれ! ふくしま
の野球少年!!」**を開催

(29年1月)

小中学生 **212名**参加



当行グループ全体の障がい者雇用総数 (29年9月1日)

65名

※「障害者雇用促進法」法定雇用率2%を充足

3. 持続可能な企業体質の確立 (5) CSR (地域貢献・社会貢献活動) の取組み

金融経済教育



とうほう親子金融教室

対象：小学生 **87名**参加

お金の大切さや使い方などについて楽しく学んでいただくために開催
(福島、郡山、会津で開催)



エコノミクス甲子園福島大会

対象：高校生
17チーム (34名) 参加

クイズ大会を通じて、金融経済の知識を深めていただくために開催



福島大学への提供講座 「地域金融論」

対象：大学生
約 **150名** 受講
地域金融機関の機能と役割等に造詣を深めていただくために開催

ネーミングライツ (命名権) の取得



名称 **とうほう・みんなのスタジアム**
期間 平成25年5月～平成30年3月

スポーツ活動振興

文化活動振興

名称 **とうほう・みんなの文化センター**
期間 平成28年4月～平成33年3月



地域スポーツ振興、環境保全活動等への取組み



地域スポーツチームへの協賛

九州豪雨被災地への義援金



Jヴィレッジへの寄付



小高地区 清掃活動



川内村マラソン ボランティア



パンダハウス (注) への寄付

(注) 病と闘う子どもと家族のサポートハウス



とうほう・みんなの森づくり

平成21年度より実施。役職員や家族による植林活動。
平成29年6月 相馬市開催 参加者**120名**

本資料には、将来の業績に係る記述が含まれておりますが、こうした記述は、将来の業績を保証するものではありません。

将来の業績は、経営環境等の変化等により異なる可能性がありますのでご留意ください。

＜本資料に関するお問い合わせ先＞

東邦銀行 総合企画部

TEL 024-523-3131

FAX 024-524-1425